

令和5年3月2日

東北町議会議長 岡山 粕男 殿

産業建設常任委員会  
委員長 坂本 直大

### 所管事務調査報告書

本委員会は所管事務の調査について、下記のとおり会議規則第47条の規定により報告します。

#### 記

1 開催期日 令和5年2月16日（木）

2 開催場所 役場議員控室

3 調査事項

##### （1）所管事務調査

- ① 建設課
  - ・公園橋補修工事請負契約の一部変更に係る専決処分について
  - ・令和4年度主要事業の進捗状況について
- ② 農林水産課
  - ・令和4年度主要事業の進捗状況について
  - ・町営放牧場再編計画について

4 調査結果

本委員会は、閉会中の調査事項でありました所管事務について、町側から副町長及び担当課長の出席を求め、開催しました。

調査の方法は、町側から説明を求め、その後質疑を行いました。

以下、調査の概要と質疑等のありました主なものについて、報告いたします。

## 建設課

- ・公園橋補修工事請負契約の一部変更に係る専決処分について

専決処分を必要とした理由

公園橋補修工事について、現場精査及び工事内容を変更するため専決処分したものである。  
工事請負契約の一部変更について

令和3年第4回東北町議会定例会議案第104号をもって議決を経た公園橋補修工事の請負契約の一部を次のとおり変更する。

請負代金「53,680,000円」を「54,098,000円」に変更する。

(変更工事の概要)

工種	種別	単位	変更前	変更後	増減
断面補修工	断面補修工	m <sup>3</sup>	0.101	0.154	0.053
ひび割れ補修工	ひび割れ補修工	m	1.7	7.5	5.8

- ・令和4年度主要事業の進捗状況について（令和5年1月31日時点）

事業名	進捗率	事業名	進捗率
町道218号線排水路等側溝整備工事	100	町道218号線舗装改修工事	100
町道124号線側溝修繕工事	100	町道218号線舗装改修工事	100
町道158号線舗装改修工事	100	町道保戸沢・旗屋線舗装改修工事	—
町道157号線舗装改修工事	100	公園橋補修工事	80
町道甲地・鶴ヶ崎線側溝整備工事	100	崩出橋補修工事	100
上野地区側溝補修工事	100	第1花向橋補修調査設計業務委託	90
町道甲地・鶴ヶ崎線側溝整備工事（その2）	10	土場川橋補修測量設計業務委託	90
町道表町14号線外1改良舗装工事	75	第一乙供橋補修調査設計業務委託	100
町道373号線測量設計業務委託	50	坂下橋補修調査設計業務委託	90
町道表町14号線外1改良舗装工事（その2）	20	喜藤橋補修工事	20
町道224号線舗装改修工事	10	小川原通跨線橋詳細設計業務委託	70
（3国債）岩渡沢川改修（1工区）工事	100	甲田橋補修測量調査設計業務委託	85
（3国債）岩渡沢川改修（2工区）工事	100	新館橋補修測量調査設計業務委託	75
（4国債）岩渡沢川改修工事	10	寺沢橋補修工事	—
町内民間賃借住宅に住居する新婚世帯への家賃補助	72	赤平橋補修工事	—
沼崎本村跨線橋補修工事	100	小川原通跨線橋鉄道地上設備詳細設計業務委託	10
町道甲地・蓼内線防雪柵詳細設計業務委託	70	東北町橋梁定期点検及び長寿命化修繕計画策定業務	75
町道外蛭沢・輝ヶ丘線防雪柵設置工事	30	東北町営住宅栄団地外壁塗替工事	100
町道甲地・蓼内線防雪柵設置工事	30	東北町公営住宅等長寿命化計画策定業務委託	75
町道347号線防雪柵設置（1工区）工事	60	3災第5号町道乙供・太田平線道路災害復旧工事	100

町道347号線防雪柵設置（2工区）工事	30	4 災第 44 号乙供・太田平線道路災害復旧工事	—
町道甲地・蓼内線防雪柵設置工事（その2）	10	4 災第 45 号乙供・太田平線道路災害復旧工事	—
町道表町・甲田線舗装補修工事	100	4 災第 46 号 1 2 1 線道路災害復旧工事	—
町道表町・甲田線舗装補修工事（その2）	100	4 災第 47 号 5 2 6 線道路災害復旧工事	—
蛸沢小学校・大簾屋線測量設計業務委託	100	4 災第 48 号長崎・甲田線道路災害復旧工事	—
上清水目2号線測量設計業務委託	80	除雪業務委託（直営 13 台 委託 66 台）	66
土橋北線測量設計業務委託	70	防雪柵設置・収納事業	50

【質疑】除雪1回出動したらいくらかかりますか。

【回答】かかった時間、降った量によっても若干変化はあるのですが、総出動かけるとおおむね1,800万円から2,000万円かかります。

【質疑】公営住宅等長寿命化計画策定業務委託について、将来町公営住宅を新たに建てるといふ計画を組んでいるのか。

【回答】現在公営住宅について新設等は考えておりません。現在ある公営住宅について、塗装や屋根の補修等の業務委託です。

【質疑】防雪柵を新たに設置する計画はあるか。あるとすれば大体何か所ぐらい予定しているか。

【回答】新規で5か所程度の要望があります。ただ、今はまず測量設計しているものと、工事未完了を完了にしていく、それが1工区終わったら新しいほうという形で今考えていますが、当面5年くらいは新しいところは難しいと思っています。

## 農林水産課

・令和4年度主要事業の進捗状況について

国補助		縣補助	
事業名	進捗率	事業名	進捗率
農林水産業経営基盤強化推進事業	49.5	土づくりのための土壌診断推進事業	0.0
稲作需要減退支援事業	99.4	優良種苗確保対策事業	0.0
農業経営基盤強化資金利子助成事業	0.0	農業用廃プラスチック回収促進対策事業	73.7
経営所得安定対策直接支払推進事業	72.6	生き活き産業文化まつり実行委員会事業	90.1
新規就農者育成総合対策事業	84.1	葉たばこ生産振興対策事業	0
経営継承・発展等支援事業	0.0	健康な土づくり推進事業	0
農業次世代人材投資事業	50.0	GAP認証取得推進事業	0
葉たばこ作付転換円滑化緊急対策事業	82.9	町家畜導入推進事業	3.7
経営体育成支援事業	25.0	和牛効率生産技術導入支援事業	0
中山間地域等直接支払交付金事業	100.0	獣医師確保対策事業	12.8
県営中山間地域総合整備事業	0.0	放牧場整備事業	99.6

県営土場川地区経営体育成基盤整備事業	0.0	民有林野造林間伐事業	0
県営通作条件整備事業	0.0	水産多面的機能発揮対策事業	71.2
県営赤川地区経営体育成基盤整備事業	0.0	しじみ貝種苗生産事業	100.0
多面的機能支払交付金	100.0	小川原湖が育む食材の販路開拓・プロモーション事業	0
土づくりのための土壌診断推進事業	0.0	うなぎ稚魚放流事業	100.0
優良種苗確保対策事業	0.0	種子・種苗等緊急対策事業	77.4
		収入保険加入促進事業	0
		スモール牛価格下落緊急対策事業	95.2

※進捗率は当初予算に対しての支払状況で、3月末で概ね100%となる。

【質疑】しじみ貝種苗生産事業について、機械を船につけての漁が増えたことにより、稚貝が深掘りされ、稚貝をまいても土が覆いかぶさってしまい、上に上がってこれず死んでしまっているケースが結構あると聞きます。その辺の対策をしないと、個体数は上昇しないと思いますがどのようにお考えですか。

【回答】漁の仕方ですごく入り過ぎて砂がぶり小さい貝が死んでしまうのか、また違った要素で死骸が出てきているというのもあるかと思しますので、その辺は漁協とともに情報共有しながら対応のほうには協力していきたいと思っています。

- ・町営放牧場再編計画について

### 集約化に向けた検討課題

課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎年多額の赤字を計上。税金を投入する以上、<b>実態に応じた適正規模の運営に改める必要</b></li> <li>○ 預け入れ頭数も低迷している中、公共牧場が果たす役割は何か。現在、畜産事業者が抱える課題も踏まえた<b>今後の公共牧場の役割を検討</b>する必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の利便性にも一定の配慮しつつも、赤字幅を抑制するため、<b>預託事業を行う牧場数を段階的に削減</b>。具体的には、2か年かけて現状の<b>4牧場から2牧場とする</b>。</li> <li>○ 畜産事業者が抱える大きな課題は、<b>国産飼料の安定的確保</b>。上記見直しにより、預託事業を休止した<b>牧場を利用し、国産飼料の生産</b>に取り組む。具体的には、すでに横沢山1工区等の一部で実施しているように、<b>町内の飼料生産組織等に貸し出すことを想定</b>。</li> </ul>

### 町営放牧場の再編スケジュール

現状 (R4)	来年 (R5)	再来年 (R6) 以降
道ノ下 飼養頭数 肉用牛 53頭	道ノ下 飼養頭数 肉用牛 53頭	道ノ下 飼養頭数 肉用牛 53頭
横沢山1工区 飼養頭数 乳牛 36頭	横沢山1工区(修繕予定) 飼養頭数(畜種変更) 肉用牛 47頭	横沢山1工区(修繕予定) 飼養頭数 肉用牛 112頭
横沢山2工区 飼養頭数 肉用牛 65頭	横沢山2工区 飼養頭数 肉用牛 65頭	横沢山2工区 休牧 ※採草地として利用
豊畑 飼養頭数 肉用牛 47頭	豊畑 休牧 ※採草地として利用	
淋代・南平 休牧 ※採草地として利用		

※頭数は令和4年度ベース

【要望】改善後令和6年度でも2,000万円ぐらいの赤字が予想される。

さらに検討し赤字をもっと少なくするような改善計画を考えていただきたい。

- 建設課 ・ 補正予算の概要説明
- 農林水産課 ・ 補正予算の概要説明
- 商工観光課 ・ 補正予算の概要説明
- 下水道課 ・ 補正予算の概要説明
- 農業委員会 ・ 補正予算の概要説明
- その他

#### ① 下水道料金審議会の立ち上げについて

令和6年度までに公営企業化していなければ、補助金の交付要件に該当しなくなる。

⇒令和6年度までに公営企業化を目指す。⇒公営企業化した際、現状より収支が改善されなければ、起債を借りれなくなる恐れがある。⇒収支を改善する為に、下水道料金の改正等を含めた経営改善に関する検討を行う必要があるため、下水道料金審議会を立ち上げる。

#### ○下水道料金審議会開催のスケジュール

令和5年3月	下水道料金審議会立ち上げ 委嘱状交付 組織会開催
令和5年4月～ 令和5年11月	下水道料金審議会開催（問題提起・経営戦略の説明・経営状況の報告・使用料対象経費の算定・使用料の検討）・意見集約
令和5年12月～ 令和6年3月	集約した意見により条例等の改正が必要となるような諮問があった場合は議会等への提案等各種手続き。
令和6年4月	下水道事業（農業集落排水事業）の公営企業化開始